

# 4月の中小企業月次景況調査(茨城県)

[令和8年4月末現在]

令和8年5月14日  
茨城県中小企業団体中央会

全体で、「景況」、「売上高」、「収益状況」の主要3指標DIを見ると、「景況」、「収益状況」のいずれも前年同月比は悪化し、前月比では「景況」、「収益状況」が悪化、「売上高」が改善した。

業種別でみると、「景況」の前年同月比は製造業、非製造業ともに悪化し、前月比も製造業、非製造業ともに悪化した。「売上高」の前年同月比は製造業、非製造業ともに悪化した。前月比は製造業、非製造業ともに改善した。「収益状況」の前年同月比は製造業、非製造業ともに悪化し、前月比も製造業、非製造業ともに悪化した。

中東情勢の悪化に伴い、あらゆる業界で燃料費の高騰に加え、石油由来製品等の高騰と供給不足や供給停止の状況がみられるなど経済活動に影響を及ぼしている。さらに、価格・供給の両面において先行き不安の声があげられており、今後、中小企業経営に及ぼす影響が悪化することが懸念される。

## 景況DI

全体では、前月比 11.0ポイント悪化の▲45.7ポイント、製造業は、前月比 1.5ポイント悪化の▲37.5ポイント、非製造業は、前月比 21.2ポイント悪化の▲54.5ポイントとなった。

## 売上高DI

全体では、前月比 7.4ポイント改善の▲13.0ポイント、製造業は、前月比 7.7ポイント改善の▲8.3ポイント、非製造業は、前月比 6.8ポイント改善の▲18.2ポイントとなった。

## 収益状況DI

全体では、前月比 6.4ポイント悪化の▲39.1ポイント、製造業は、前月比 5.5ポイント悪化の▲37.5ポイント、非製造業は、7.6ポイント悪化の▲40.9ポイントとなった。

茨城県中央会では、中小企業を取り巻く様々な環境の変化の下で、中小企業の発展を確保していくために中小企業の動向、問題点、要望等を機敏かつ的確に把握するために、中小企業で構成されている事業協同組合等の中小企業団体に情報連絡員を設置し、最新の「景況、売上高、収益状況、販売価格、取引条件」などの景気動向調査を実施しております。

情報連絡一覧票

NO.	集計上の分類業種	具体的な業種 (産業分類細分類相当)	組合等及び組合員の業況等 (景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点)	
1	製 造 業	学校給食パン	本年度の学校給食パン基本加工賃が前年度比3.58円(7.23%)上昇した。 5月からの包装資材の値上げが決定しているなど、加工賃の上昇分は原材料等の値上げで吸収してしまいそうである。	
2		学校給食米飯	地域により給食人口に格差が生じており、減少が大きい地域では配送料を考慮すると採算が合わなくなってきている。 中東情勢の影響で燃料費(特に重油)の上昇が経営に与える影響が無視できない状況にあり、人件費と燃料費の上昇分が加工賃の上昇分を上回る可能性がある。	
4		清酒	○県内全体の課税移出数量・業界全体の現状 本年3月の清酒課税移出数量は、対前年同月比92.9%であった。 高級酒の大吟醸酒は特に落ち込みが大きく、物価高による庶民の節約志向の強さが感じ取れる。家計の支出の取捨選択が進んでいると考えられる。 ○県内当業界について 対前年同月比の清酒の移出数量は減少するなど売上低下に歯止めがかからない。 生産過程や物流においての諸物価の高騰を受け、酒の値上げに踏み切る蔵元もあるが、値上げすると途端に売れ行きが低下するため、他県の大手メーカーは値上げをせず、バック酒は安価のままで、特定名称酒でメジャーなものも茨城の酒に対して相対的に安価なものがある。 消費者の購買動向に変化が起きていることが懸念される。	
5		納豆	中東情勢の影響を受け、石油化学製品である包材、資材が高騰するとともに、調達も困難となってきており、商品の製造に制限が出てきている。今後、生産調整の必要性が出てくる可能性が高い。 包材、資材の価格高騰が急速なため、商品への価格転嫁が間に合わず、値上げ分を加工業者が負担することとなる。	
6		菓子	エネルギー価格高騰による製造コストが上昇している一方で、商品価格への転嫁には時間を要している。	
7		漬物	新年度となったが、相変わらず原材料の価格上昇、原油の高騰など、当業界では厳しいスタートとなっている。包装資材等も上昇しており、価格転嫁が進んでいない中小製造業は厳しい状況。 原料野菜を生産し、加工する漬物製造業者は、気候により生産コストが大きく変動するが、販売価格に転嫁することが困難な状況。	
9		繊維工業	絹織物	前年度、廃業等により組合員3名が脱退した。
10			外衣シャツ	受注量は、前年同月比で減少。 人件費が上昇しているが、価格転嫁できていない。
11		木材・木材製品	製材	国産材製品の価格は概ね横ばいで推移。 外材価格は、原油高等による値上げ機運が高まっていることから高値安定。 原木価格は、スギの価格が下げ止まり、スギ・ヒノキとも横ばいで推移。
12	県北地区プレカット		4月の加工量は、月間加工坪数目標の40%。 5月の加工予定は、連休明けから中旬に17棟を予定。 木材費は、高値安定で推移。	
13	紙・紙加工品	段ボール	4月の生産量は、中小・大手とも前年を上回った。これは、今後、さらなる値上げや、原材料不足を懸念して前倒しで注文があったものと考えられる。 副資材の購入価格の改定が続いており、販売価格への転嫁をしなければならないタイミングとなっている。 あらゆる物品の入荷が遅れるなどの現象が起きており、今後の生産への影響が懸念される。	
14	印刷	総合印刷	中東情勢の影響を受けての原材料の大幅値上げもさることながら、原材料は海外からの輸入に依存しているため原材料不足となることが不安。	
18		陶磁器	当組合の最大イベントである陶炎祭(4/29～)により産地は活気に満ちている。 販売価格は上昇傾向。	
19	鉄鋼・金属	鉄鋼	売上・設備の操業度とも前年度と同程度であった。 4月下旬からの連休に向け、多くの取引先からの受注量は減少傾向であった。 金属材料はすべて高値で推移。 原油の輸入が滞り、電気代・燃料・灯油等も値上がり傾向。 エネルギー価格上昇の影響で全ての原材料・薬品・酸類も値上がりの状況が続いている。 4月はこれら値上がりの影響は少なかったが、5月以降は収益状況・資金繰り等は厳しくなり景況は悪化するとと思われる。	
20	製 造 業	一般機器	生産用機械	対象7組合員(製造会社)の売上状況は増加が(前年同月比)4社、減少が3社となった。全体増減率は107%となった。 団地全体の売上高は、主要取引先からの受注が引き続き増加した事から12カ月連続で前年同月を上回った。ただし、主要取引先がシステム更新を5～6月に実施する事から、その期間は受注が減少する見込み。団地全体の従業員数は、売上高増加による派遣社員の増加から、前年同月比44名増加となった。ただ、前述の通り受注減少が見込まれるため5月には減少となる見込み。
21		電気機器	発電機	燃料費等の高騰やシンナー等の材料不足により収益状況は悪化。
22			重電	急激な最低賃金に販売価格が追いつかない。
23		輸送用機器	県北地区自動車部品	今後の受注減少が心配される。
26	卸売業	生鮮魚介	物価高が続き、市場の取扱い数量は大きく減少。GW明けの5月も厳しい状況が続くものと予測している。	
27		米麦	高値集荷した令和7年度米の販売遅れから在庫過剰のため、低温倉庫不足となり保管場所を確保することに苦慮している。	
28		袋セメント	袋セメントの4月度出荷量は25千袋の実績。 年度末工事も概ね終了し、前月比△2千袋の減少、前年同月比95.3%で推移。 12月に販売価格を値上げした後、ホームセンター私製袋への流出は引き続き進んでいるものと推測される。	

情報連絡一覧票

NO.	集計上の分類業種	具体的な業種 (産業分類細分類相当)	組合等及び組合員の業況等 (景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点)
29	非 製 造 業	鹿行地区共同店舗	売上高は前年同月比105.42%。来客数は97.19%。
30		県南地区共同店舗	売上高は前年同月比で102.45%。
32		燃料	中東情勢の悪化は依然として収束の目途が立たず、ホルムズ海峡からの原油の流通は依然として正常化していない。政府は、民間備蓄、国家備蓄の放出を行い、国内の混乱を抑えている。また、ガソリン高騰分の補助金により全国平均で170円程度に抑えている。価格転嫁が難しい状況にあるが、価格転嫁を進めていく必要がある。一刻も早い中東情勢の正常化が望まれる。
33		農機具	中東情勢の影響でナフサを使用する製品の供給が一時、不安定になり、月末は数量制限と価格改定があったが供給が再開され始めた。
35		スポーツ用品	日立市では日立製作所の従業員数減少に伴い、小中高校の児童・生徒数が減少し、新入学生の体育用品（ジャージ、シューズ、カバン等）の売上高の減少が続いている。常陸多賀駅周辺の商店も売上低迷、後継者不足等により、現在計画中の新駅舎完成前に商店街がなくなるかもしれない状況にある。
36		中古自動車	4月期は、売上高（87.0%）、販売台数（93.6%）、販売価格（92.9%）すべてが対前年度比で減少。自動車業界全体が世界情勢の悪化で大きな影響を受けている。新車販売価格が変わらず停滞していることで、中古車市場もタマ不足が続いており、仕入競争が激しくなっている。先行きが不透明であり、帰趨するにはまだ時間がかかりそうである。
37		野菜・果実	4月の野菜果実の取扱高は、前年同月比94.1%。過去5年間の平均と比較しても97.4%。ジャガイモ、タマネギなど全体的に品薄単価高となったが、需要自体も低調であり、売上高も減少。市場内でも長期間在庫となっている商品も散見された。
40		筑西	石油商品等、様々な物の価格の高騰が著しい。
41	非 製 造 業	自動車整備	組合員事業場の車両在庫状況指数である継続検査台数（持込検査）の対前年同月比は減少（普通車94.3%、軽自動車95.3%、平均94.7%）。中東情勢悪化による原油等が不足するとの懸念により、エンジンオイル、部品洗浄用の油脂類の消耗品等が高騰し収益を圧迫。エンジンオイルに代表される油脂類が不足が顕著。特にエンジンオイルは、オイル添加剤の輸入不足によりメーカーでの生産が遅れ、出荷されていない状況にあり、オイル交換等の一般作業ができなくなりつつある。
42		旅館、ホテル	○県北エリア：日立・北茨城・日立 「さくらまつり」等のイベントを目的にSNS経由で予約したインバウンド客の来訪があり、閑散期における情報発信の効果がみられた。一方で花の見頃の前倒しや4月下旬の悪天候により集客が伸び悩んだ施設や一部自治体の不祥事に伴う公的機関の利用自粛が響いている地域もある。また、消耗品をはじめとする経費の高騰が経営に深刻なダメージを与えるとの危機感が広がっている。 ○県央エリア：水戸・大洗・ひたちなか 4月中旬以降は、ひたちなか海浜公園のネモフィラ需要により、国内外の個人・団体客とも増加し、高稼働を維持した。しかし、4月下旬（GW前半）の悪天候により売上が伸び悩んだ施設もみられた。全体として販売単価は上昇傾向にあるが、仕入価格や諸経費も比例して高騰しており、売上増が利益改善に結びつかず、収益を圧迫している。 ○県南エリア 例年、見込める新入社員研修の規模縮小や、法人団体の宿泊キャンセルが発生するなど、法人需要の弱さが目立った。さらにGW前の旅行控え（需要の冷え込み）も重なり、対前年比で稼働率や売上高を落とす施設が多く、苦戦を強いられた。
43		ビル管理	新年度契約額の見直しが行われ、既存継続の契約年額は4%増加。但し、資機材消耗品、薬剤費等の上昇幅は想定を超えて進んでいるため利益確保に苦慮している。
46		県北地区管工事	・中東の紛争の影響により、ナフサ由来の塩化ビニル、ポリエチレン管等水道関係資材の出荷が未だ止まっていて、資材の調達に苦慮している。 ・各管材屋より、塩化ビニル・ポリエチレン関係は30%、金属類は15%位の7月からの値上げの連絡があった。 ・金属関係の値上げの影響からか、各地で水道メーターの盗難が多くみられる。 ・3月末で会員組合1社が1社脱退した。
49	運輸業	軽貨物自動車	4月度の組合員数は96名、車輛台数は125台で前月と比較して増減なし。運送売上高は前年同月比118.6%。
50		一般貨物自動車	主要顧客の発送物流はほぼ横ばい。4月からさらに輸送運賃を若干値上げしたが、中東情勢の影響により燃料価格は大幅に値上がりしており、他の資材等の値上げや供給不足も発生しており、収益はより一層厳しい状況となった。

行政庁・中央会に対する要望事項

集計上の分類業種	具体的な業種	行政庁・中央会に対する要望事項、または関心のある事項、意見等
食料品	学校給食米飯	燃料の安定確保と助成をお願いしたい。
	清酒	昨年からの急激な米価格の高騰により加工業者は苦境に陥っている。行政には米価の安定のための生産者や集荷業者・卸業者への適切な指導の強化をお願いしたい。
印刷	総合印刷	中東情勢の影響による懸念材料が多いため、迅速な対応をお願いしたい。
窯業・土石製品	コンクリート製品	公共工事費（土木）の拡充 2025年度補正・2026年度予算の早期執行
電気機器	重電	特定（業種別）最低賃金を廃止してほしい。
小売業	燃料	揮発油に課税している二重課税の廃止。 中東情勢悪化に伴う自治体との燃料油販売契約への柔軟な対応、燃料供給不足に対する手配（重油等の不足） SS事業者への中東情勢悪化に伴う収益悪化に対する金融的支援 暫定税率分の経由に係る地方税への適切な対応
サービス業	旅館・ホテル	販売価格への転嫁だけでは吸収しきれない物価高騰（仕入、消耗品、エネルギー費等）が各施設に大きなダメージを与えているため、引き続きの経営支援を要望する。 インバウンドの地方誘致に向けた地域イベントのSNS等を通じた広報支援をお願いしたい。

月次景況調査 4月のD I（前年同月比）

項 目	全 体			製 造 業			非 製 造 業		
	4月	3月	前月比	4月	3月	前月比	4月	3月	前月比
景 況	▲ 45.7	▲ 34.7	▲ 11.0	▲ 37.5	▲ 36.0	▲ 1.5	▲ 54.5	▲ 33.3	▲ 21.2
売 上 高	▲ 13.0	▲ 20.4	7.4	▲ 8.3	▲ 16.0	7.7	▲ 18.2	▲ 25.0	6.8
収 益 状 況	▲ 39.1	▲ 32.7	▲ 6.4	▲ 37.5	▲ 32.0	▲ 5.5	▲ 40.9	▲ 33.3	▲ 7.6
販 売 価 格	23.9	12.2	11.7	16.7	4.0	12.7	31.8	20.8	11.0
取 引 条 件	▲ 21.7	▲ 22.4	0.7	▲ 20.8	▲ 20.0	▲ 0.8	▲ 22.7	▲ 25.0	2.3

# 中小企業月次景況調査(令和8年4月)DI値(前年同月比)

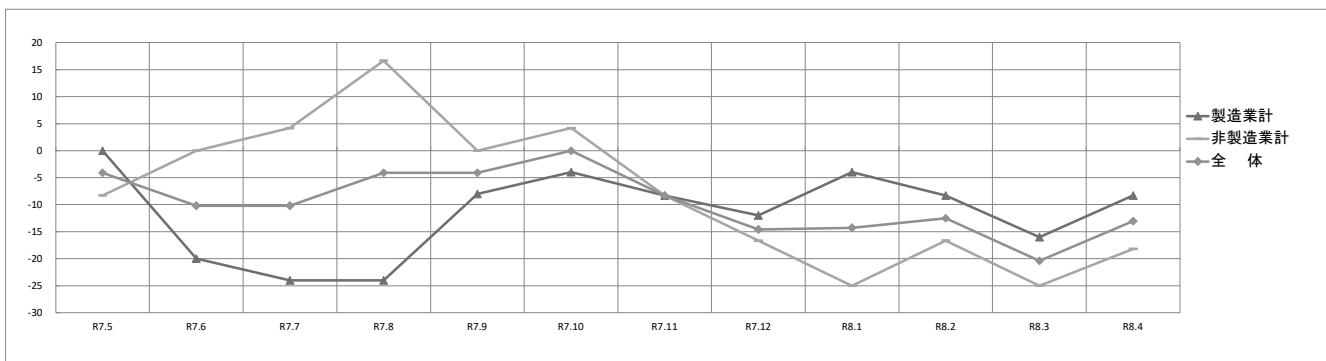
	売上高				在庫数量				販売価格				取引条件				収益状況				資金繰り				設備操業度				雇用人員				業界の景況													
	DI	(内訳)			DI	(内訳)			DI	(内訳)			DI	(内訳)			DI	(内訳)			DI	(内訳)			DI	(内訳)			DI	(内訳)																
		増加	不変	減少		業界数	増加	不変		減少	業界数	上昇		不変	悪化	業界数		好転	不変	悪化		業界数	好転	不変		悪化	業界数	上昇		不変	悪化	業界数	増加	不変	減少	業界数	好転	不変	悪化	業界数						
製造業	食料品	0.0	2	3	2	7	△ 14.3	1	4	2	7	71.4	5	2	0	7	0.0	1	5	1	7	△ 57.1	0	3	4	7	△ 28.6	0	5	2	7	△ 28.6	0	5	2	7	△ 28.6	0	5	2	7	△ 42.9	0	4	3	7
	繊維工業	△ 50.0	0	1	1	2	△ 50.0	0	1	1	2	△ 50.0	0	1	1	2	△ 50.0	0	1	1	2	△ 50.0	0	1	1	2	0.0	0	2	0	2	0.0	0	2	0	2	△ 50.0	0	1	1	2	△ 50.0	0	1	1	2
	木材・木製品	△ 50.0	0	1	1	2	0.0	0	2	0	2	0.0	0	2	0	2	0.0	0	2	0	2	0.0	0	2	0	2	0.0	0	2	0	2	0.0	0	2	0	2	0.0	0	2	0	2	0.0	0	2	0	2
	紙・紙加工品	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1
	印刷	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1
	窯業・土石製品	△ 25.0	1	1	2	4	25.0	1	3	0	4	25.0	1	3	0	4	△ 25.0	0	3	1	4	△ 25.0	1	1	2	4	25.0	1	3	0	4	△ 25.0	0	3	1	4	△ 25.0	0	3	1	4	△ 25.0	1	1	2	4
	鉄鋼・金属	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	△ 100.0	0	0	1	1	△ 100.0	0	0	1	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	△ 100.0	0	0	1	1
	一般機器	100.0	1	0	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	100.0	1	0	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	100.0	1	0	0	1	0.0	0	1	0	1
	電気機器	△ 50.0	0	1	1	2	50.0	1	1	0	2	△ 50.0	0	1	1	2	△ 100.0	0	0	2	2	△ 100.0	0	0	2	2	△ 100.0	0	0	2	2	△ 50.0	0	1	1	2	△ 50.0	0	1	1	2	△ 100.0	0	0	2	2
	輸送機器	33.3	1	2	0	3	0.0	0	3	0	3	0.0	0	3	0	3	△ 33.3	0	2	1	3	△ 33.3	0	2	1	3	0.0	0	3	0	3	△ 33.3	0	2	1	3	0.0	0	3	0	3	△ 33.3	0	2	1	3
	製造業計	△ 8.3	5	12	7	24	0.0	3	18	3	24	16.7	6	16	2	24	△ 20.8	1	17	6	24	△ 37.5	2	11	11	24	△ 16.7	1	18	5	24	△ 20.8	0	19	5	24	△ 16.7	1	18	5	24	△ 37.5	1	13	10	24
非製造業	卸売業	△ 66.7	0	1	2	3	33.3	1	2	0	3	0.0	1	1	1	3	0.0	0	3	0	3	△ 66.7	0	1	2	3	△ 33.3	0	2	1	3					0.0	0	3	0	3	△ 66.7	0	1	2	3	
	小売業 (商店街含む)	△ 20.0	3	2	5	10	△ 20.0	0	8	2	10	20.0	3	6	1	10	△ 30.0	0	7	3	10	△ 50.0	0	5	5	10	△ 30.0	0	7	3	10					0.0	0	10	0	10	△ 60.0	0	4	6	10	
	サービス業	0.0	1	1	1	3					66.7	2	1	0	3	△ 66.7	0	1	2	3	△ 66.7	0	1	2	3	△ 33.3	0	2	1	3					△ 100.0	0	0	3	3	△ 66.7	0	1	2	3		
	建設業	△ 25.0	0	3	1	4					50.0	2	2	0	4	0.0	1	2	1	4	25.0	1	3	0	4	0.0	0	4	0	4					0.0	0	4	0	4	△ 25.0	0	3	1	4		
	運輸業	50.0	1	1	0	2					50.0	1	1	0	2	0.0	0	2	0	2	△ 50.0	0	1	1	2	0.0	0	2	0	2					0.0	0	2	0	2	△ 50.0	0	1	1	2		
	非製造業計	△ 18.2	5	8	9	22	△ 7.7	1	10	2	13	31.8	9	11	2	22	△ 22.7	1	15	6	22	△ 40.9	1	11	10	22	△ 22.7	0	17	5	22					△ 13.6	0	19	3	22	△ 54.5	0	10	12	22	
全体	△ 13.0	10	20	16	46	△ 2.7	4	28	5	37	23.9	15	27	4	46	△ 21.7	2	32	12	46	△ 39.1	3	22	21	46	△ 19.6	1	35	10	46	△ 20.8	0	19	5	24	△ 15.2	1	37	8	46	△ 45.7	1	23	22	46	

## D I 値推移表 (R7.5月 ~ R8.4月期)

### 《売上高の推移》

前年同月比	R7.5	R7.6	R7.7	R7.8	R7.9	R7.10	R7.11	R7.12	R8.1	R8.2	R8.3	R8.4
食品品製造業	▲ 12.5	▲ 12.5	▲ 25.0	▲ 37.5	▲ 12.5	▲ 12.5	0.0	0.0	0.0	▲ 12.5	0.0	0.0
製造業(食品品製造業以外)	5.8	▲ 23.5	▲ 23.5	▲ 17.6	▲ 5.8	0.0	▲ 12.5	▲ 17.6	▲ 5.8	▲ 6.2	▲ 23.5	▲ 11.8
製造業計	0.0	▲ 20.0	▲ 24.0	▲ 24.0	▲ 8.0	▲ 4.0	▲ 8.3	▲ 12.0	▲ 4.0	▲ 8.3	▲ 16.0	▲ 8.3
卸売業	0.0	0.0	▲ 33.3	66.7	33.3	▲ 33.3	▲ 33.3	▲ 66.7	▲ 66.7	▲ 66.7	▲ 66.7	▲ 66.7
小売業(商店街含む)	▲ 27.3	▲ 9.1	9.1	9.1	0.0	9.1	▲ 9.1	▲ 9.1	▲ 27.3	▲ 18.2	▲ 36.4	▲ 20.0
サービス業	66.7	66.7	33.3	66.7	▲ 33.3	33.3	0.0	33.3	33.3	66.7	0.0	0.0
建設業	▲ 20.0	0.0	▲ 20.0	0.0	▲ 20.0	▲ 20.0	▲ 20.0	▲ 20.0	▲ 20.0	▲ 20.0	▲ 20.0	▲ 25.0
運輸業	0.0	▲ 50.0	50.0	▲ 50.0	50.0	50.0	50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	50.0	50.0
非製造業計	▲ 8.3	0.0	4.2	16.7	0.0	4.2	▲ 8.3	▲ 16.7	▲ 25.0	▲ 16.7	▲ 25.0	▲ 18.2
全体	▲ 4.1	▲ 10.2	▲ 10.2	▲ 4.1	▲ 4.1	0.0	▲ 8.3	▲ 14.6	▲ 14.3	▲ 12.5	▲ 20.4	▲ 13.0

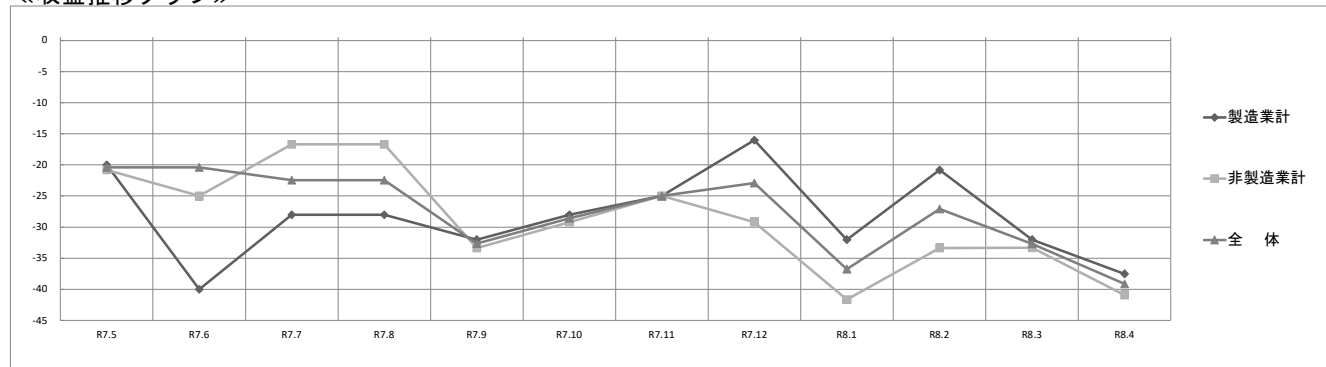
### 《売上高推移グラフ》



### 《収益の推移》

前年同月比	R7.5	R7.6	R7.7	R7.8	R7.9	R7.10	R7.11	R7.12	R8.1	R8.2	R8.3	R8.4
食品品製造業	▲ 37.5	▲ 37.5	▲ 25.0	▲ 37.5	▲ 50.0	▲ 37.5	▲ 14.3	0.0	▲ 37.5	▲ 25.0	▲ 25.0	▲ 57.1
製造業(食品品製造業以外)	▲ 11.7	▲ 41.1	▲ 29.4	▲ 23.5	▲ 23.5	▲ 23.5	▲ 25.0	▲ 23.5	▲ 29.4	▲ 18.7	▲ 35.3	▲ 29.4
製造業計	▲ 20.0	▲ 40.0	▲ 28.0	▲ 28.0	▲ 32.0	▲ 28.0	▲ 25.0	▲ 16.0	▲ 32.0	▲ 20.8	▲ 32.0	▲ 37.5
卸売業	▲ 33.3	▲ 33.3	▲ 66.7	▲ 33.3	▲ 66.7	#####	▲ 33.3	▲ 66.7	▲ 66.7	▲ 66.7	▲ 66.7	▲ 66.7
小売業(商店街含む)	▲ 9.1	▲ 9.1	9.1	▲ 9.1	▲ 27.3	▲ 18.2	▲ 36.4	▲ 27.3	▲ 54.5	▲ 36.4	▲ 45.5	▲ 50.0
サービス業	▲ 33.3	▲ 66.7	▲ 33.3	0.0	▲ 66.7	▲ 33.3	▲ 33.3	▲ 33.3	▲ 66.7	▲ 66.7	▲ 33.3	▲ 66.7
建設業	▲ 20.0	▲ 20.0	▲ 40.0	▲ 20.0	▲ 20.0	▲ 20.0	0.0	▲ 20.0	0.0	0.0	▲ 20.0	25.0
運輸業	▲ 50.0	▲ 50.0	0.0	▲ 50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	▲ 50.0
非製造業計	▲ 20.8	▲ 25.0	▲ 16.7	▲ 16.7	▲ 33.3	▲ 29.2	▲ 25.0	▲ 29.2	▲ 41.7	▲ 33.3	▲ 33.3	▲ 40.9
全体	▲ 20.4	▲ 20.4	▲ 22.4	▲ 22.4	▲ 32.7	▲ 28.6	▲ 25.0	▲ 22.9	▲ 36.7	▲ 27.1	▲ 32.7	▲ 39.1

### 《収益推移グラフ》

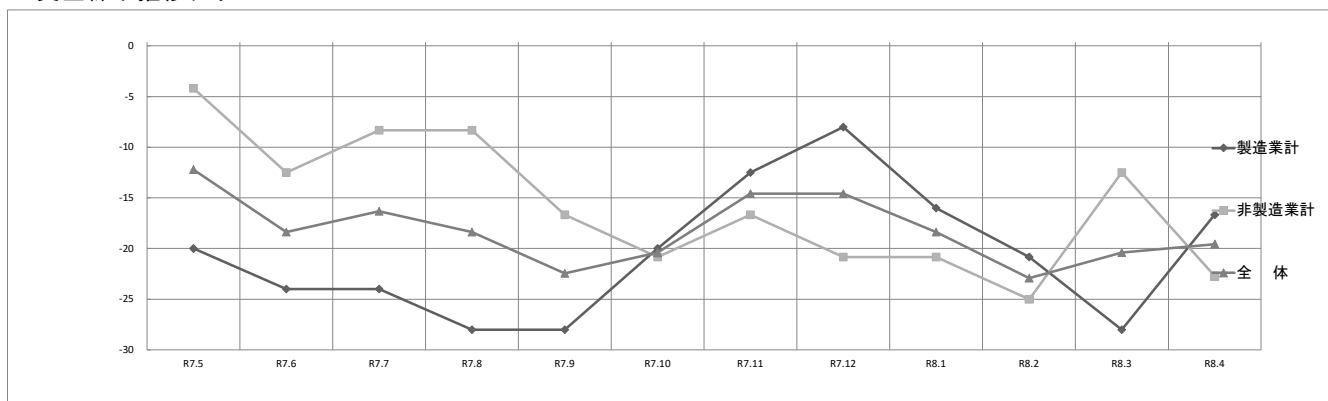


## D I 値推移表 (R7.5月 ~ R8.4月期)

### 《資金繰りの推移》

前年同月比	R7.5	R7.6	R7.7	R7.8	R7.9	R7.10	R7.11	R7.12	R8.1	R8.2	R8.3	R8.4
食料品製造業	▲ 37.5	▲ 37.5	▲ 25.0	▲ 37.5	▲ 37.5	▲ 25.0	▲ 14.3	0.0	▲ 25.0	▲ 50.0	▲ 37.5	▲ 28.6
製造業(食料品製造業以外)	▲ 11.7	▲ 17.6	▲ 23.5	▲ 23.5	▲ 23.5	▲ 17.6	▲ 12.5	▲ 11.7	▲ 11.7	▲ 6.2	▲ 23.5	▲ 11.8
製造業計	▲ 20.0	▲ 24.0	▲ 24.0	▲ 28.0	▲ 28.0	▲ 20.0	▲ 12.5	▲ 8.0	▲ 16.0	▲ 20.8	▲ 28.0	▲ 16.7
卸売業	▲ 33.3	▲ 33.3	▲ 33.3	▲ 33.3	▲ 66.7	▲ 66.7	▲ 33.3	▲ 66.7	▲ 33.3	▲ 33.3	▲ 33.3	▲ 33.3
小売業(商店街含む)	0.0	▲ 9.1	0.0	▲ 9.1	▲ 9.1	▲ 18.2	▲ 18.2	▲ 18.2	▲ 27.3	▲ 27.3	▲ 27.3	▲ 30.0
サービス業	0.0	▲ 33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	▲ 33.3	33.3	▲ 33.3
建設業	0.0	0.0	▲ 20.0	0.0	▲ 20.0	▲ 20.0	▲ 20.0	▲ 20.0	▲ 20.0	▲ 20.0	▲ 20.0	0.0
運輸業	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0
非製造業計	▲ 4.2	▲ 12.5	▲ 8.3	▲ 8.3	▲ 16.7	▲ 20.8	▲ 16.7	▲ 20.8	▲ 20.8	▲ 25.0	▲ 12.5	▲ 22.7
全体	▲ 12.2	▲ 18.4	▲ 16.3	▲ 18.4	▲ 22.4	▲ 20.4	▲ 14.6	▲ 14.6	▲ 18.4	▲ 22.9	▲ 20.4	▲ 19.6

### 《資金繰り推移グラフ》



### 《景況の推移》

前年同月比	R7.5	R7.6	R7.7	R7.8	R7.9	R7.10	R7.11	R7.12	R8.1	R8.2	R8.3	R8.4
食料品製造業	▲ 37.5	▲ 25.0	▲ 25.0	▲ 50.0	▲ 37.5	▲ 37.5	▲ 14.3	▲ 12.5	▲ 37.5	▲ 37.5	▲ 37.5	▲ 42.9
製造業(食料品製造業以外)	▲ 5.8	▲ 35.2	▲ 35.2	▲ 29.4	▲ 29.4	▲ 23.5	▲ 18.7	▲ 23.5	▲ 23.5	▲ 18.7	▲ 35.3	▲ 35.3
製造業計	▲ 16.0	▲ 32.0	▲ 32.0	▲ 36.0	▲ 32.0	▲ 28.0	▲ 16.7	▲ 20.0	▲ 28.0	▲ 25.0	▲ 36.0	▲ 37.5
卸売業	▲ 33.3	▲ 66.7	▲ 33.3	▲ 66.7	▲ 66.7	▲ 66.7	▲ 100.0	#####	▲ 66.7	▲ 66.7	▲ 66.7	▲ 66.7
小売業(商店街含む)	▲ 9.1	▲ 9.1	0.0	▲ 18.2	▲ 36.4	▲ 27.3	▲ 36.4	▲ 27.3	▲ 45.5	▲ 36.4	▲ 45.5	▲ 60.0
サービス業	0.0	▲ 33.3	▲ 33.3	0.0	▲ 33.3	▲ 33.3	▲ 33.3	▲ 66.7	▲ 66.7	▲ 66.7	0.0	▲ 66.7
建設業	▲ 20.0	▲ 20.0	▲ 20.0	▲ 20.0	▲ 20.0	▲ 20.0	▲ 33.3	▲ 20.0	▲ 20.0	▲ 20.0	▲ 20.0	▲ 25.0
運輸業	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	▲ 20.0	0.0	▲ 50.0	▲ 50.0	0.0	▲ 50.0
非製造業計	▲ 20.4	▲ 25.0	▲ 25.0	▲ 29.2	▲ 29.2	▲ 29.2	0.0	0.0	0.0	0.0	▲ 33.3	▲ 54.5
全体	▲ 28.6	▲ 28.6	▲ 28.6	▲ 32.7	▲ 30.6	▲ 28.6	▲ 8.2	▲ 10.4	▲ 14.3	▲ 12.5	▲ 34.7	▲ 45.7

### 《景況推移グラフ》

